

葉

を見る

イヌエンジュ



鳥の羽根のような葉 — これでも1つの葉



ヤチダモの葉

左の写真はヤチダモの葉ですが、一見、枝からたくさんえだの葉が出ているように見えます。ところが秋になり落葉の季節になると、この集まりごとと落ちます。

実はこれ全体で1つの葉ふくようっぱなのです。このように小さな葉（小葉）に分かれている葉を複葉ふくようといい、ヤチダモやオニグルミなど鳥の羽のようなものを羽状複葉うしじょうふくようといいます。



オニグルミの葉



キハダの葉



タラノキの葉（これでも1つの葉）



ヤマハギの葉



イヌコリヤナギ（複葉ではない）

イヌコリヤナギえだの葉は枝から直接1枚1枚生えているので複葉ふくようではありません。

このように、葉や芽が向かい合って生えることを「対生」とたいせい呼びます。

ちなみに、ヤチダモは対生ですが、オニグルミはちがいます。（→p18「冬の枝先を見る」）



ケヤマウコギの葉

大きなギザギザの葉



カシワの葉（裏に毛がある）

カシワもミズナラもどちらもドングリの木つらです。葉もよく似ていますが、カシワの葉の裏には小さな毛がいっぱい生えています。



ミズナラの葉

毛の生えた葉



ネコヤナギの葉（表裏に毛）



エゾノキヌヤナギの葉（裏に毛）

毛の生えた葉もあります。ヤナギの仲間の若葉^{わかば}には毛があるものが多いですが、特にネコヤナギとエゾノキヌヤナギはあとまで残ります。



カシワの葉（裏に毛が密生）

手のひらのような葉



ハリギリの葉

いわゆる葉っぱらしい形ではなく、切れ込みが大胆で、変わった形をした葉もあります。



カラギカエデの葉



ヤマブドウの葉



ヤマグワの葉



ケヤマウコギの葉

そのほかこんな葉も



エゾヤナギの葉
（托葉がある）



ナワシロイチゴの葉
（左は5つに、右は3つに分かれている）

他にも、葉の付け根にミニサイズの葉（托葉^{たよくよう}）を付けたもの（エゾヤナギなど）、複葉^{ふくよう}なのだけど分かれ方がいろいろ（ナワシロイチゴ）、付け根近くで段違いになっている葉（ハルニレ^{だんちが}）など、よく見ればいろいろな葉があります。



ハルニレの葉
（付け根に段差）

参考文献

「北海道 樹木図鑑」佐藤孝夫 亜細亜社 1990
「新版 北海道の樹」辻井達一・梅沢俊・佐藤孝夫 北海道大学図書刊
行会 1992

「ヤナギ類 その見分け方と使い方」斎藤新一郎 （社）北海道治山協
会 2001